

再犯防止への治療・支援

～死ぬことでしか終われないと思っていた私の万引き～

万引きを繰り返す人の中に、クレプトマニア(窃盗症)という依存症になっている人がいます。彼(女)らは、刑務所で服役するだけでは万引きがやめられず、なかには自死という悲しい選択をされた人も少なくありません。クレプトマニアの人たちの再犯防止のために必要なことのひとつは、依存症の治療と支援です。今回、犯罪学・刑事政策の第一人者である浜井浩一教授(龍谷大学)と依存症治療の専門家である吉田精次医師(藍里病院)をお招きしてご講演いただき、クレプトマニアの人たちの再犯防止について、みなさんと一緒に考えたいと思います。

2016年2月6日 土

会場

香川県社会福祉総合センター
7階 第一中会議室

13:20～16:30 (開場 13:00)

《参加費無料・当日参加可》

プログラム

●講演1：
「罪を犯した人を排除しない社会を目指して」

【講師】 浜井 浩一 氏
(龍谷大学法科大学院教授)



●講演2：
「クレプトマニア(窃盗症)
～医療と司法はいかに共働すべきか～」

【講師】 吉田 精次 氏
(社会医療法人あいざと会 藍里病院副院長 精神科医)

●報告・質疑応答

参加申し込み

事前申込みなしでの当日参加も可能です。事前申込み可能な方は裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX・電話・メールにてお申し込みください。

お問い合わせ先

高松あすなろの会 香川県高松市成合町 559-15

☎ 0120-39-0476 FAX: 087-885-2390 Mail: www@takamatsu-asunaro.org

主催 / 全国クレサラ・生活再建問題被害者連絡協議会 共催 / 高松あすなろの会
後援 / 香川県精神保健福祉センター、香川県地域生活定着支援センター

講師紹介

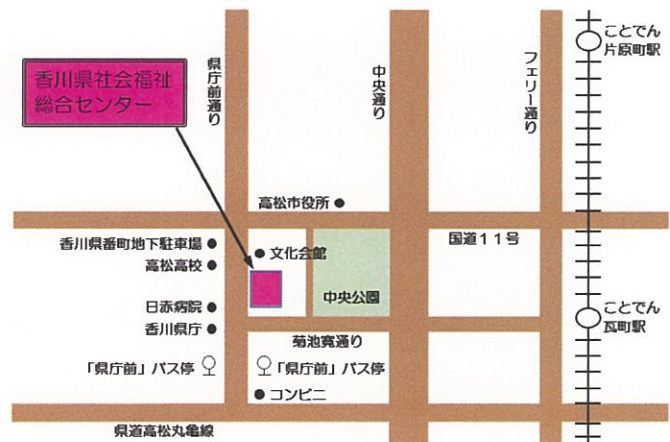
浜井 浩一 (はまい こういち) 1960 年生まれ。龍谷大学法科大学院教授。専門は、刑事政策、犯罪学、統計学、犯罪心理学。早稲田大学教育学部卒業後、法務省に入省。矯正機関や保護観察所で勤務。法務総合研究所の研究官や在イタリア国連犯罪司法研究所の研究員を務め、犯罪白書の執筆にも携わる。臨床心理士。主な著書に『犯罪統計入門』『刑務所の風景』（いずれも日本評論社、2006 年）、『2 円で刑務所、5 億で執行猶予』（光文社新書、2009 年）、『罪を犯した人を排除しないイタリアの挑戦 隔離から地域での自立支援へ』（現代人文社、2013 年）などがある。

吉田 精次 (よしだ せいじ) 精神科医。社会医療法人あいざと会 藍里病院 副院長。1981 年、徳島大学医学部卒。2001 年からアルコール・薬物依存症臨床医研修を久里浜アルコール症センター、国立精神神経センター、肥前療養所、ロスアンジェルス・マトリックス研修などにおいて受講し、依存症治療を開始。刑務所における薬物離脱教育を 6 年間担当。2007 年からギャンブル依存症の治療も開始。現在は依存症全般を専門として治療にあっている。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムである CRAFT を全国的に広める活動を行っている。アルコール問題の 2 次予防活動として HAPPY プログラムを地元で開始。小学校 6 年生を対象に、ダルクのメンバーと一緒に「アルコール・タバコ・ドラッグ」の授業も行っている。

会場案内

香川県社会福祉総合センター
7階 第一中会議室
香川県高松市番町一丁目 10 番 35 号
(087)835-3334

- ❖ JR 高松駅より徒歩約 15 分
- ❖ ことでん瓦町駅より徒歩約 10 分
- ❖ 地下有料駐車場
約 55 台収容可能(25 分 100 円)



【参加申込書】

高松あすなろの会 行き (送付書不要)

FAX 087-885-2390 または電話 ☎ 0120-39-0476

メール www@takamatsu-asunaro.org

氏名 (ニックネーム可)	所属	連絡先 ※任意 (電話/FAX/ メールアドレス等いずれか)

※この「参加申込書」に記載していただいた情報は、本講演会の運営のみに使用します。